

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年11月23日

【評価実施概要】

事業所番号	0170503106		
法人名	株式会社 フロイデプランニング		
事業所名	グループホーム けあふる		
所在地	札幌市南区藤野3条4丁目13番2号 (電話) 011-593-1112		
評価機関名	有限会社 ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北一条西5丁目3		
訪問調査日	平成20年11月21日	評価確定日	平成21年1月6日

【情報提供票より】 (20年11月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成17年 3月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤14人 非常勤 4人 常勤換算	12人

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	2階建ての	1～2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	36,000円		光熱費 20,000円	
	その他の経費(月額)		暖房費(11~3月)15,000円	
敷金	有(72,000円)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無		無
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,500 円			

(4) 利用者の概要(11月21日現在)

利用者人数	18名	男性	8名	女性	10名
要介護1	1名	要介護2	5名		
要介護3	8名	要介護4	3名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢	平均 74歳	最低	62歳	最高	100歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	川沿中央病院、愛全病院、小笠原クリニック、五輪橋病院、中村記念南病院
---------	------------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

一連の外部調査業務が終了しても、なお利用者と話しを続けたい、もう少しホームに留まって時間を過ごしたい・・・との思いを起こさせる雰囲気がこのホームの大きな特徴と思慮します。ウイットに飛んだスタッフの声掛けが、利用者をいつの間にか笑顔の渦中にとけ込ませてしまう。これはスタッフのスキルの深さによるものです。小雪が降る寒い日中、外出を望む利用者と一緒に添うなどの光景も垣間見ることができました。ハード面では特殊な工程を施した快適な床暖房、介護度高い利用者にもゆったりと湯に浸ることを目的とした特殊浴槽の設備など、細やかな配慮が見られます。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の評価で取り組まれた課題については、管理者、スタッフの努力により改善が見られます。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	新しいスタッフもおり、全員の気づきで作上げられたといえるまでには、至っていませんが、内容的にはスタッフの全員に周知し、把握されています。これからの取り組みには、改善計画シートを利用した計画的な取り組みが予定されています。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	昨年まで会議開催は十分ではありませんでしたが、現在では運営者、管理者の努力、また町内の理解により定期的な開催が実現されています。内容も活発な質疑などがありますが、多少固定化の傾向が視えますので、会議のメンバー構成を柔軟にして、内容の広がりを期待するとともに、評価への取り組みを提示しながら、進捗状況についてのモニター役を担っていただく、更には災害対策への具体的な取り組みを期待します。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族からの意見や苦情を素直に聞きながら、ホーム運営の改善に向けた積極的な姿勢が視えます。電話でのご意見なども逃さず記録、また来訪時の会話の内容も介護記録で知ることができ、毎月1度のカンファレンスでは、スタッフの情報の共有と改善に向けた話し合いが持たれています。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域との交流は昨年度からの課題のひとつでしたが、運営者、管理者を始めとするスタッフの果敢な取り組みにより、大きな前進が見られます。町内の行事への参加では清掃活動やお祭りへの参加など、地域で暮らす利用者、またホームも地域の一員であることの認識のもと、交流の輪が次第に広がりつつあります。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホーム理念のもと、地域の中で、利用者がその人らしい暮らしの継続への支援は、スタッフの中で理解され、日々のケアサービスに取り組んでいます。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	運営者はスタッフとの会話の中から、理念の意義及び実践について共有を図るなどしています。また、スタッフは向上心を持って日々のサービスに活かされるよう互いに切磋琢磨されています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	前回の取り組み課題でありましたが、運営者、管理者やスタッフ全員の努力により、地域との交流が進められています。町内の行事（清掃活動やお祭りなど）には積極的に参加しながら、近隣の方々との交流の輪を広げています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義を理解しながら、課題への取り組みが行なわれています。運営推進会議の開催、金銭面の家族への報告、ほかの業者との交流など、多くの課題が、運営者、管理者やスタッフの果敢な取り組みにより改善されています。		

札幌市南区 グループホーム けあふる

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	町内の理解をいただきながら、大きな進展がありました。会議の内容からはメンバーの活発な質問など、意見交換が覗えますが、議題に固定化傾向が感じられます。	○	従来のホーム運営への理解を更に深めるため、柔軟なメンバー構成に配慮しながら、自己評価、外部評価で得られた課題への取り組みを提示して、意見をいただくなど、会議内容を活かしたサービスの質の向上を目指した取り組みを期待します。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	区が行なうグループホームの管理者会議に出席しながら、区の担当者との会話を通して、サービスの向上に向けた連携が行なわれています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族への報告では、ホームの近況報告に合わせて、金銭管理の報告が行なわれています。また、家族の来訪時や電話を利用した報告が行なわれていますが、更に家族とスタッフの間で絆を強める工夫が必要と思慮します。	○	利用者の暮らしの状況を一番身近に感じているスタッフの情報は、家族が等しく切望するものです。現在のホームの近況報告に加えて、スタッフの手書きなどの「お便り」により、一層の信頼関係の構築を期待します。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の来訪時には、できるだけ意見や要望、苦情などを気軽に話せる雰囲気作りをしています。いただいた意見などは電話の受付簿や介護日誌に記載し、毎月1度開催されるカンファレンスにおいて報告し、検討を加えてホーム運営に反映するよう努めています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	以前はスタッフの退職などの異動がありましたが、今年は落ち着きを見せています。異動があった際には利用者への影響を最小限に抑えるため、管理者を始めスタッフ全員がフォローするなどの配慮が行なわれています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は、スタッフのスキルの向上が重要との認識のもと、外部で開催される研修会などの情報を伝え、参加を促すなどしていますが、一部の参加にとどまり計画的、また、経験に応じた受講機会の確保には至っていません。	○	ケアを支えるスタッフのスキルアップは、偏に個人の努力に帰することが大きく、余暇を利用した研修会の参加は、ホームとして側面的な支援が必要です。スタッフにおいても経験の相違があり、経験や資格取得などに必要な外部研修を計画的に受講を促し、スタッフのスキルアップによるサービスの質の向上に取り組まれるよう期待します。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	系列のグループホームとの交流に加えて、最近では近隣のほかのグループホームとの交流も始まっています。相互訪問による情報交換の活動を通してサービスへの視野が広がるなど、今後は、より多くのほかの業者との交流を深める検討がされています。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ホームの雰囲気馴染んで利用者本位の暮らしができるよう、スタッフの弛まざる支援が続けられています。スタッフは、入居間もない利用者の心に真に向き合い、会話や行動を理解しながら、明るい雰囲気のもと、和やかな暮らしぶりを覗うことができました。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	スタッフは、利用者ができること、できないことを良く把握しており、自立への支援が日常的に行なわれています。利用者からの感謝の言葉も聴かれるなど、ともに過ごし、支え合う関係がとても良くできています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	誕生日には、どんな希望があるのか、どんな料理が希望かなど、スタッフの上手な質問により、弾んだ会話が飛び交います。ほかの利用者も一緒に加わるなど、思いや意向の把握が暮らしの会話の中から生まれています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	朝・夕の申し送りや月1回のカンファレンスで、アセスメントやモニタリングで得られた気づきなどが話され、家族の意見、要望も加味しながら、利用者に適した介護計画が作られています。介護計画書にはセンター方式を一部導入するほか、ホーム独自の様式によりの確な計画作りが行なわれています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	6ヵ月の長期の介護計画、3ヵ月の短期の介護計画が作られ、期間ごとに見直しが行なわれています。また、状態の変化などには、医療機関及び看護師のアドバイスをいただきながら、適宜変更をして支援に努めています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者や家族の事情、要望に応じて通院の介護や送迎、買物などホームが有する車両を利用した支援が行なわれています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	24時間対応の医療機関が確保され連携が取れています。毎週1回の往診や訪問看護などが実施されるなど、利用者の健康管理に配慮がされています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時には、重度化や終末期に対応の指針が利用者及び家族、ホームで確認されています。更に状態の変化には、家族や医師などとの協議により対応が確認されています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者に関する個人情報の保護について、重要事項説明書の中で明らかにされており「個人情報の使用に関わる同意書」に準ずるものとして運用されています。スタッフは利用者のプライドを傷つけることなく、言葉遣いや接し方に配慮しています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	スタッフ全員が、利用者との会話を本当に大切にしながら、支援が行なわれています。ホーム内ではスタッフの語り掛け、利用者の声が多重にも行き交いながら、楽しい雰囲気を作られています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者はマイペースでゆっくりとした食事が行なわれています。スタッフも利用者の間に座り、語りかけるなど楽しい食事の雰囲気作りに努めています。食事の合間に献立の希望などが話されています。後片付けなど可能な利用者には手伝っていただいています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者には、少なくとも週2回の入浴をゆったりと楽しんでいただくよう支援をしています。1階には特殊浴槽の設備もあり、入浴の困難な利用者にも温かな湯船での入浴を可能にしています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	普段は、リビングでのテレビを楽しんでいます。大相撲の番組、野球中継なども楽しみにしています。ホームではメリハリをつけた生活をしていただくため、食器拭き、洗濯物たたみ、新聞たたみなど、できることは役割りとして、また、楽しみとして行なっていただくようにしています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	暖かい時節では、日常的に散歩が行なわれています。また、近くにある公園や系列のグループホームまでの散歩も行なわれ、道すがら、ご近所の庭の草花も観賞するなど、外気浴を楽しんでいます。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は施錠せず、ユニット玄関ドアの鈴の音やスタッフの見守りでカバーされています。夜間のみ防犯上、施錠することにしています。		

札幌市南区 グループホーム けあふる

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回、消防署の指導を受けて避難訓練が行なわれ、訓練記録や非常用物品、消火器など設備点検も行なわれています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は、スタッフが利用者の希望などを取り入れながら作られています。食事の量や水分摂取量は毎日チェックし、記録されています。栄養のバランスなどは、これまで管理栄養士が活用していたカロリー表を参考にバランスのある献立が工夫されています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食堂とリビングは回廊式で片方にはトイレ、片方は洗面所と厨房が位置して、利用者の行き来を容易にしています。遠赤外線放出の鉱石を施した床暖房が心地よい温度を保っています。ユニット毎に設けられた3箇所のトイレの向きもプライバシーに配慮されており、生活感の漂う共用空間となっています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は、利用者によって持ち込まれた家具などがあるものの、ゆったりとしたスペースが確保されており、安心の空間となっています。利用者の中にはビデオ装置も持ち込み楽しい時間を過ごしています。		

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。